

「しっかりあいさつ」「いじめは、しない・させない・許さない」「自分から」という3つの約束を軸に、さらに「3密をさけよう」「石けんで手を洗おう」「マスクをしよう」の新しい生活習慣を守りながらこの2か月が過ぎました。

校内を回っていると、6月に分散登校を開始したころとは、かなり子どもたちや教室の様子・雰囲気が変わってきたことに気づきます。何が変わってきたかといえば、子どもたち、子どもたち同士、そして担任との関係性です。当然といえば当然なのですが、分散登校開始直後は、久々の学校であるということ、コロナの影響で精神的に不安定な子も見受けられたこと、担任も初めての体験で半分半分の学級をどのように作っていけばいいか戸惑いを感じていたことなど、様々な要因が考えられます。

ところが、2か月弱ではありますが、日を重ねていくごとに学級内での人間関係や約束事ができ上がってきて、クラスとしての雰囲気がそれぞれの学級で出てきます。担任のボケに見事に突っ込みを入れる学級、子どもたち同士のよそよそしさが薄れて、一体感の出てきた学級、担任の先生の話聞きながら自分の学習課題に一齐に真剣に取り組む学級など、まさにこの2か月間は「学級づくり」「学年づくり」「仲間づくり」の時間でした。



マスクと水分とてあらいを！

来週1週間を残す状態ではありますが、今のところ、子どもたちに感染したという報告は受けておりません。これもご家庭でのご指導、ご協力によるところと感謝申し上げます。